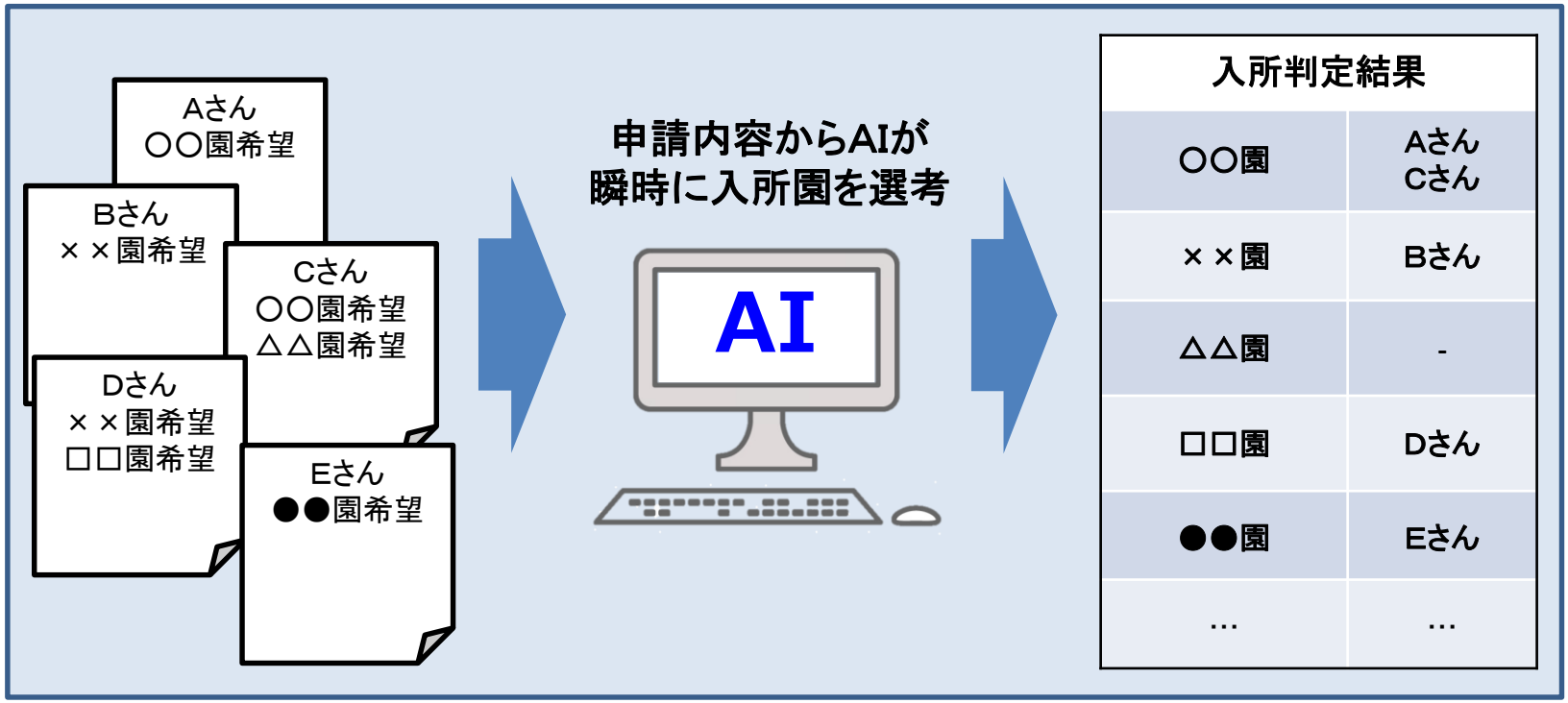
保育所等
AI入所選考システム導入費　1,094万5千円

現在手作業で行っている保育所等への入所選考に、<u>人工知能「AI」</u>を取り入れることにより、事務量の軽減を図るとともに、保護者や施設に対して速やかに入所決定の通知を行うことができるようになる。



決定までの期間

短縮

待機児の再検討時間

増加

放課後児童クラブ
利用料減免

4,180万8千円

幼児教育・保育が無償化される一方で、小学校入学後、経済的負担が理由で放課後児童クラブが利用できなくなる児童のため、利用料の減免制度を拡充し、放課後等の安全・安心な居場所の確保に努めます。

利用料の減免対象について、

【ひとり親又は多子世帯の児童】
児童１人につき4,000円（月額上限）
に加え、

【傷病による生活保護受給世帯の児童】
児童１人につき8,000円（月額上限）

【就学援助受給世帯の児童】
児童１人につき4,000円（月額上限）

を拡充します。

恐竜博物館整備事業費

恐竜博物館建設　10億3,790万円

長崎半島から発見された恐竜・翼竜など多種多様で貴重な化石を有効に活用し、調査研究、資料の収集、展示、教育活動に資する恐竜博物館を、野母崎田の子地区（野母崎総合運動公園水泳プール跡地）に建設する。

令和元年度
建築・展示設計

→

令和2年度
建築工事、展示施工
標本取得、研究機器購入等

→

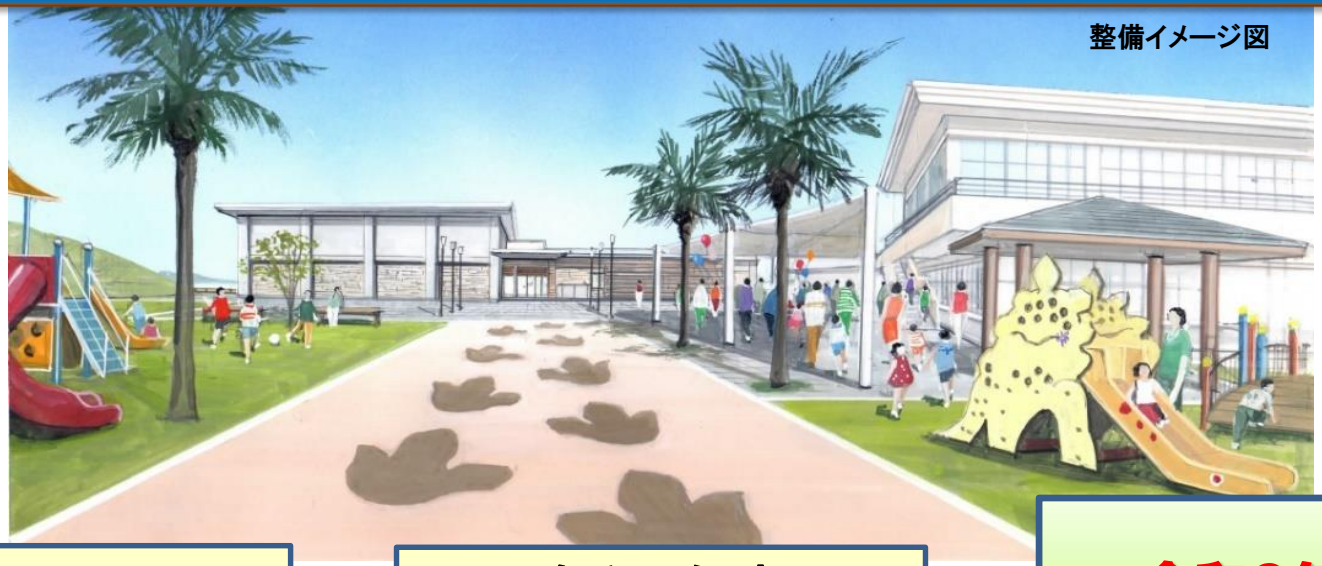
令和3年10月
恐竜博物館オープン
（予定）

道路整備（野母町1号線）、野母崎総合運動公園整備についても一体的に取り組みます。

離島・過疎地域振興対策費

野母崎田の子地区再整備事業費　4億7,980万円

「恐竜博物館建設」に伴い来場者の増加が見込まれるため、こども広場などの博物館周辺施設の整備を行うことにより、市民が憩える安全・快適な広場環境の充実を図る。



令和元年度
基本設計
亜熱帯植物園の植物の移植

→

令和2年度
亜熱帯植物園の植物の移植
敷地造成、駐車場舗装、広場舗装、遊具設置ほか

→

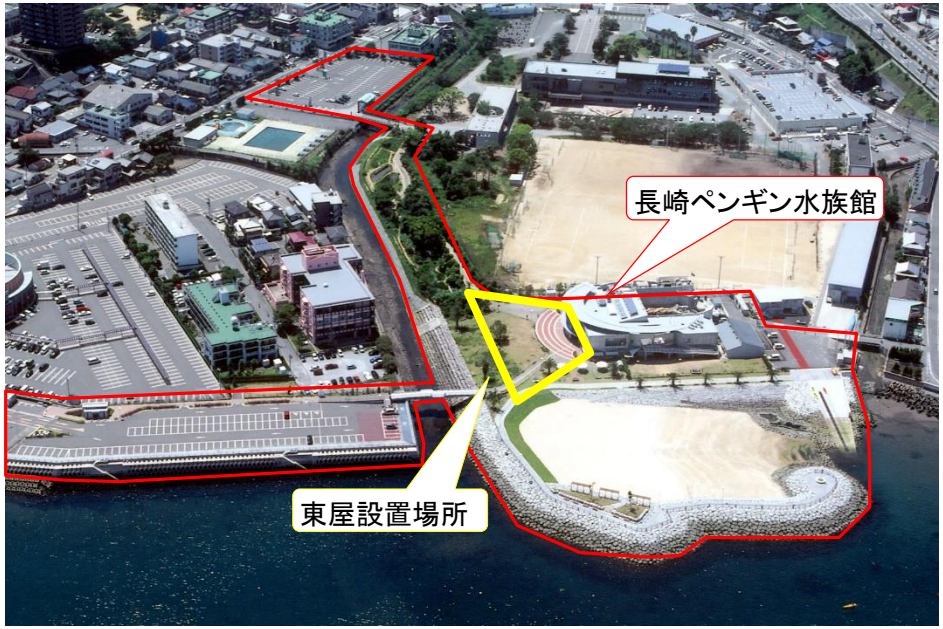
令和3年10月
恐竜博物館オープン
（予定）

恐竜博物館建設、道路整備（野母町1号線）についても一体的に取り組みます。

長崎ペンギン水族館施設整備事業費

長崎ペンギン水族館施設整備　2,550万円

増加傾向にある来館者の休憩スペースとして、また、地域住民へ憩いの空間を提供するため、長崎ペンギン水族館正面広場に東屋を設置する。



正面広場

東屋イメージ

6棟予定

長崎ペンギン水族館施設整備事業費
ペンギン購入　530万円

しものせき水族館と相互交換していたマカロニペンギンの返却等に伴い、新たにキタイワトビペンギンを受け入れることで、飼育種世界一（９種）を維持する。

長崎ペンギン水族館飼育種及び飼育羽数

飼育種		飼育羽数
1	キングペンギン	18
2	ジェンツーペンギン	24
3	ミナミイワトビペンギン	2
4	マカロニペンギン	2
5	ケープペンギン	40
6	マゼランペンギン	13
7	フンボルトペンギン	61
8	コガタペンギン	4
9	ヒゲペンギン	6

しものせき水族館へ

しものせき水族館へ貸付していた1羽が高齢により死亡したことに伴い、同水族館から借用している1羽を返却。残り1羽についてもペンギンの健康面を考慮し、無償貸付。

キタイワトビペンギン5羽
（新たな種の受け入れ）

飼育種世界一（9種）の維持

公園等施設整備事業費
ユニバーサルデザイン遊具　4,000万円

ユニバーサルデザイン遊具設置

稲佐山公園において、障害の有無に関わらず、すべての子どもたちが楽しく遊べるよう、障害者団体と意見交換を行いながらユニバーサルデザイン遊具を設置するもの。

設置予定遊具の例

- 幅の広いスロープ
- 健常者と障害者が一緒に遊べる振れ動く遊具
- 車いす用のブランコなどの遊具

新文化施設整備推進費
基本計画策定費　（事業費総額）2,404万6千円

令和2年度当初予算　338万1千円
債務負担行為設定額　2,066万5千円

新たな文化施設の整備に向けて、基本計画を策定する

基本構想策定（R元年7月）

▽

基本計画

基本設計

実施設計

建設工事

策定期間：令和2～3年度

○整備方針と役割
○施設機能の具体化
○動線・配置等の考え方
○管理運営の考え方　など

イメージ（他都市ホール）

様々な文化活動の発表の場、文化芸術鑑賞の場として、
質が高く、市民が使いやすい新たな文化施設を整備

遠藤周作文学館運営費
【開館20周年記念事業・企画展リニューアル分】

615万4千円

開館２０周年記念事業及び企画展示のリニューアルを行う

開館２０周年記念事業

●「遠藤周作を偲ぶ一日」の開催【拡大】

遠藤周作氏と縁が深い方による講演会

開 催 日：令和２年１０月（予定）

場　　所：ブリックホール国際会議場

参加者数：５００名

●オリジナルグッズの作成

クリアファイル（３枚組）３，０００セット

企画展示リニューアル

●テーマ：遠藤周作のエッセイ展

―生活と人生の違い―（予定）

学校給食施設整備事業費
学校給食センター建設

510万円

現行の学校給食の課題解決と充実化のため、給食施設を集約化し、市内３か所に新たな学校給食センターを建設します。

≪1か所目：（仮称）長崎市三重学校給食センターの整備運営事業スケジュール≫

全体事業費　101億6,532万円

令和元年8月～令和2年3月
民間事業者の募集・選定・契約

↓

令和2年3月～令和3年10月
民間事業者による設計・建設

↓

令和4年1月　供用開始
維持管理・運営～令和18年7月まで

［令和2年度の事業内容］

●金融機関との直接協定の設定に伴う支援業務
・専門アドバイザーに協定の合意形成に係る支援を委託

●他都市給食センター視察

●学校給食センター整備に関する周知・啓発
・パンフレット作成
・説明会の実施　など

イメージパース